

会社紹介

Y's Publishing Co., Inc. 準会員 吉田 仁さん

1. 会社の業務内容等について簡単にご説明ください。

Y's Publishing Co., Inc.はニューヨークに本社を置く1995年創業のメディア企業です。主な事業は「便利帳シリーズ」の発刊で、アメリカ・メキシコ・インドの3か国で展開しております。アメリカで定期的に発刊している媒体は「アトランタ・ノースカロライナ・サウスカロライナ・テネシー・アラバマ・テキサス便利帳」「オハイオ・インディアナ・ケンタッキー便利帳」「シカゴ・デトロイト便利帳」「ニューヨーク便利帳」「ボストン・ワシントンDC便利帳(現在は休刊中)」の5媒体となります。不定期で「子ども便利帳」「アメリカに10年以上住む人のための、ちょっと、ディープな便利帳」を発刊しており、昨年12月には「アメリカの市販薬(OTC) & 家庭用品便利帳」を創刊しました。その他、教育関連の事業も行っており、日本の支社では「帰国便利帳」を年2回、毎年発刊しアメリカを含む世界各地で無料配布しております。またコロナ禍でスタートしたサービスとして主にアメリカに在住の帰国生を対象とした「オンライン学校説明会」も主催しており、年2回の開催で大変好評です。テキサス州ヒューストンをカバーしております「アトランタ・ノースカロライナ・サウスカロライナ・テネ



シー・アラバマ・テキサス便利帳」は地域貢献の理念の元、6州にお住まいの方には無料で配布(送料別途)しており、おかげさまで今年は第19号を出版する予定となっております。地域のスポンサーの皆様と読者様に支えられながら長きに渡り発刊し続けられていることを、この場を借りて厚く御礼申し上げます。弊社一同、今後とも現地にお住まいの日本人や日系コミュニティを支えるべく貴重な情報を発信してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

2. ヒューストン/テキサス州の印象についてお聞かせください。

実は最近ではなかなかテキサス州を訪れていないのですが、テキサス州は低い税負担など企業がビジネスしやすい環境が揃っているイメージがあります。コロナ以降はとくに多くのアメリカの企業がテキサス州に拠点を移していることから、今後ますますホットで重要なエリアになると考えております。ぜひ久々に訪れてみたいと思います。

3. その他、個人的な関心事(趣味等)についてお聞かせください。

2020年初頭から世界中に広がったコロナウイルス感染は高止まりながらも”with コロナ”という言葉に変わり、我々のライフスタイルを大きく変えたことは承知の通りです。3年前、私は真剣に過去の人生を振り返り、こう思いました。この平和な時代に本当に戦争が始まったと。どんなにお金を稼いでも、貯めても、所詮物質的な物は戦争によって一瞬で消え去り、然程大きな価値など無いことを知りました。幸運にも米政府からの手厚い経済支援により当社は命拾いして今日がある訳です。ですから、これからの人生を物質的豊かさを求めるのでは無く、人と人との出会いを大切に日々の出版業に渾身の力を注ぎ、全力で今を生きることに。そして60歳を過ぎたら本当にやりたい大好きなゴルフに磨きを掛けてシニアツアーに参戦出来るプロゴルファーになりたい。そんな子供のような私の第二ステージ、そんな人生を夢見ています。アメリカ生活36年、皆様、どうぞ宜しくお願い申し上げます。



寒波に備えて



ヒューストンの自然災害と言えば夏場(6月から11月)のハリケーンがイメージされますが、比較的温暖な冬でも寒波による停電、断水といった大きな影響を伴う災害が起こる可能性があります。ご経験された方も多くいらっしゃると思いますが、2021年2月には32年振りとなるマイナス9度の寒波が到来し、広範な地域で数日に亘って停電や断水の影響を受けました。天気予報でも事前に気温の大幅低下や停電について触れていたようですが、まさかここまで影響の大きい寒波が到来するとは思っていなかったという声を聞きます。幸いなことに昨年はハリケーンの被害を受けることなくシーズンを終わりましたが、クリスマスの寒波のように、これから冬の本格化に伴い想像を超える寒波が来る可能性もありますので、十分な準備を心掛けて頂きたいと思っております。



2021年にヒューストンを襲った寒波は至る所で水道管の破裂が発生し、テキサス州固有の送電網事情による長期間の停電といった、想定を超える被害をもたらしました。停電や断水による大きな影響としては、暖房が使えないことによる厳しい寒さ、不自由な食事、食器の洗いやトイレ等に必要なお生活用水の不足、携帯電話の充電問題、路面凍結による車移動の制限、スーパーやガソリンスタンドの品不足といった点が挙げられます。また、電気や水がいつ復旧するか分からないという不安や恐怖感から生じるストレスもあります。

前回の寒波では概ね2、3日で電気や水は復旧したようですが、天候次第ではより長期間に及ぶ可能性もありますので、十分な飲料水や食料を確保することはもちろん、浴槽やバケツに生活用水をしっかりと貯めることも必要です。携帯電話の充電器、洗いが不要な紙コップや紙皿、懐中電灯、暖かい食事を取るための簡易ガスコンロ、防寒服等も必要となります。また車の




ガソリンを満タンにしておくことも重要です。その他、特にお子様のいるご家庭は電気が通って暖房が機能する地域のご友人宅やホテルへ避難することも必要になるかもしれません。困ったときはお互い様という言葉通り、有事の際は皆さんが置かれた状況に応じてお互いに遠慮せず助けを求めあい、助けあうことが何よりも大切になるものと思います。

尚、ガルフストリームでは過去に寒波特集を数回組んでおり、[安全危機管理ページ](#)からお役立ちサイトやアプリも記載したバックナンバーをご覧頂けます。また、寒波の後に商工会の会員様向けにアンケートを実施し、被害状況や寒波から得られた教訓等の回答も掲載されていますので、ご参考にして頂ければ幸いです。

また、寒波の話からはそれますが、車に関するヒューストン特有の事情として、冬のタイヤ空気圧の低下があります。夏と比較して空気圧が2~3割ほど低くなる場合がありますので、事故防止と燃費改善の観点から、ガソリンスタンドや車ディーラー、タイヤショップ等で空気圧をご確認の上、必要な空気を注入して頂ければと思います。

(安全・危機管理特命理事 竹原 優)

寒波に備えて

 <p>買い物・備蓄</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食料・飲料 ・ 懐中電灯 ・ 乾電池 ・ 充電器 ・ ガソリン給油 	 <p>情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Alert Houston ・ ReadyHarris (ハリス郡) ・ 地元のニュース (KHOU11, ABC13, CLICK2HOUSTON) 	 <p>凍結・断水の備え</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 屋外水道管の水抜き・保護 ・ バスタブにトイレ用水を貯水
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

詳細は [こちら](#)